

平成30年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	公開臨湖実習 3「堆積物調査法実習―過去の環境を明らかにするための観察・分析法」		
<実習内容> 潮来市にある広域水圏環境科学教育研究センターの周辺をフィールドとして、4泊5日の実習を行う。過去の環境変化を復元する手がかりとなる地層や地形を調べるための、様々な堆積物採取手法や調査分析手法を実践的に学ぶ。 <実習項目> さまざまな未固結堆積物の観察、サンプル採取、分析、水路実験などの体験を通して、地層・地形の形成過程や環境復元の方法を学ぶ。 (1) 第四系海成堆積物（下総層群）の観察・記載・柱状図作成 (2) 霞ヶ浦北浦における湖底堆積物の採取と観察 (3) レーザー回折式粒度分析装置を用いた堆積物の粒度分析 (4) 現世海浜でのジオスライサーおよびハンドオーガーを用いた簡易掘削と堆積物の観察 (5) 水路実験による堆積構造形成の観察 (6) 霞ヶ浦周辺の地形観察			
実習内容キーワード	堆積物、地層、地形、粒度分析、堆積過程、簡易掘削、霞ヶ浦		
担当教員氏名・所属・役職名	山口直文・茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター・助教		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	学部2～4年生 (院生も可)	開講期間	平成30年9月18日（火）昼～22日（土）昼
開講大学・施設名	茨城大学・広域水圏環境科学教育研究センター		
施設の住所	〒311-2402 茨城県潮来市大生 1375		
電話	0299-66-6886	F a x	0299-67-5175
e-mail	suiken@ml.ibaraki.ac.jp	Web Site	http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/
交通案内	高速バス停留所「水郷潮来（東京駅から約80分、片道1830円）」から路線バス（約20分、300円）もしくはJR延方駅から路線バス（約10分、200円）で「大生原公民館前」下車、そこから当センターまで徒歩で約5分。		
費用	宿泊費（宿泊棟使用料、シーツ代）と食費で9,000円		
授業科目名	地質環境科学実習		
単位数	1単位 (院生の場合、所属大学院での単位認定不可)	定員数	5名程度
授業料の徴収について	国立・公立・私立大学を問わず不徴収。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。参加希望者は6月30日までに電話もしくはメールでお問い合わせください。詳しい申し込み方法をお知らせします。		
選抜結果連絡法	e-mailによって、履修に必要な情報とともに本人に連絡する。		